

小型バイオマス熱電併給設備の販売提携について

東京センチュリー株式会社
フォレストエナジー株式会社

東京センチュリー株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：野上 誠、以下「東京センチュリー」）と、フォレストエナジー株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：沼 真吾、以下「フォレストエナジー」）は、地域の再生可能エネルギー普及を推進するべく、フォレストエナジーが販売する小型バイオマス熱電併給設備「Volter」の販売提携に関して基本合意いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

【小型バイオマス熱電併給設備 Volter 40 Indoor の概要】

出力	発電 40 kW、熱 100 kW（最大 85℃）
燃料	切削ウッドチップ、含水率<15%
燃料投入量	38kg/h。含水率 50%で1日約 1.5 トン、年間（7,800 時間）で約 500 トン
寸法	L=4,820 mm W=1,270 mm H=2,500 mm



< 記 >

東京センチュリーは、規制に縛られない自由な経営環境のもと、国内外のパートナー企業との共創による「金融×サービス×事業」を融合したビジネスモデルの発展・拡大に注力しております。近年、脱炭素社会の実現に向けた動きが加速する中、太陽光発電事業をはじめとする再生可能エネルギー事業の拡大に取り組み、太陽光発電事業者としては国内屈指の規模を有しております。

東京センチュリーは、再生可能エネルギー由来の電力需要があるお客さまに対して「Volter」の活用を提案するとともに、太陽光発電事業等で培った事業ノウハウを生かすことにより、「Volter」を活用した小型バイオマス熱電併給事業への参画を目指します。

フォレストエナジーは、地産地消型の木質バイオマス発電所を運営する地域自然エネルギー会社であります。小規模でエネルギー効率の高い優れたガス化技術を有するフィンランドの Volter Oy やオーストリアの Syncraft Engineering GmbH との提携を通じて、中山間地域を対象にエネルギー事業を開発・運営する体制を整えております。「Volter」設備を活用した分散型エネルギープランの策定や実施を通じて、環境問題と地域課題の解決を両立した地域レジリエンスの向上に取り組んでおります。

本提携により、東京センチュリーとフォレストエナジーは、国内木質等バイオマス発電による再生可能エネルギーの普及・促進に取り組むことにより、地域産業の活性化や自然エネルギーを活用することで、パリ協定やSDGsが目指す脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

東京センチュリー株式会社 広報IR部 (TEL) 03-5209-6710

フォレストエナジー株式会社 広報担当 (Email) info@forestenergy.jp